

活動の中で苦労したこと

自分では山を持っていなかったのですが、活動する場所を探すのが特に大変でした。

山は複数の山主さんが分割して所有していますし、口頭で貸し借りが行われていることもあるため、自治体の地図と一致しないこともあります。また、山主さん自身もご自分の山がどこか、境目はどこか分からなくなっているケースも少なくありません。

苦労はありましたが、私たちの理念に共感し、山を貸してくださる方々が見つかりました。まだ経験の浅い私たちに大切な山（財産）を任せてくださったことには本当に感謝しています。

これからの目標

森林の良さや楽しさ、そして私たちの活動を積極的に発信していくことで、より多くの人に森への関心を持ってもらいたいと考えています。

そして何よりも、山に関わるプレイヤーを増やしていくことが不可欠だと感じています。そのためにイベントなども開催していきます。プレイヤーが増えることで勝山の森林が整備され、その資源が広く利活用されていく。それが私たちの目標です。



道を作る前(Before)



道を作った後(After)

5/17-19 自伐型林業研修会を開催

「もりのこみち かつやま」は、自伐型林業をより多くの方に知ってもらいたいと3日間の研修会を開催しました。

講師として、自伐型林業の経営が評価され旭日単光章を受賞された橋本光治氏（徳島県）をお招きし、参加者は、自伐型林業での道作りの大切さや重機を活用しての道の作り方などを教わりました。



研修会の様子

山との調和を目標としています



もりのこみち かつやま
木村 理俊 さん

自伐型林業に取り組んでいると、人間も自然の一部であることを強く感じます。

山には豊富な資源があり、山と人が上手に付き合うことで、山からたくさんの恩恵を受けることができます。

山を大切な財産として、持続的に活用するためにも、山との調和を図りながら林業に取り組んでいきたいと思ひます。

森林との関わり方を子どもたちに

炭焼き事業 = 荒土町 =



原木割り体験



植樹体験



炭の窯出し体験

荒土町ふるさとづくり推進協議会は、かつて荒土町で伝統的に行われていた『炭焼き』で町おこしを行っています。

事業の一環として荒土小学校の児童を対象に体験学習を実施しています。

炭焼き事業は、荒土町の文化や自然環境の大切さ、循環型の林業を知る大切な機会となっています。

森林管理についての意向調査にご協力をお願いします。

勝山市は、対象となる森林所有者の方に調査票を送付し、これからどう森林を管理していくかについて意向確認を行っています。
調査票が届いた森林所有者の方は回答へご協力をお願いします。



勝山市で自伐型林業を始めませんか？

勝山市は、自然と共に持続可能な未来を築く自伐型林業を志す方々をサポートするために、「自伐型林業者育成支援制度」と「林業機械レンタル等支援制度」を設けています。

自伐型林業に関心がある方は、支援制度を活用して勝山市での新しい生活を始めてみませんか。

圃農林課 ☎88-8121



詳細はこちら